

## 「キリストがあなたを照らされる」エペソ5：5-14 堀田修一 20・7・5

I 先行的神の恵み。キリストは、私達の罪＝神への不従順、淫らな行い、汚れ、貪り、欲張り、偶像礼拝、憎しみ、ねたみの為に、十字架で死なれ、神の罪への聖なる怒り、罪への刑罰を受けて下さった。自分の罪を認め主を信じる私達の罪は赦され、救われる。

II 神から離れた私たち人間の姿→「淫らな者、汚れた者、貪る者は偶像礼拝者であって、こういう者はだれも、キリストと神との御国（天国）を受け継ぐことができません。だれにも空しいことばでだまされてはいけません。こういう行いのゆえに、神の怒り（罪への正しい怒り、さばき）は不従順の子らに下るのです」：5，6。

III 神は、こんなに罪深い私達を見捨てず、自分の罪を認め、その罪の為に十字架で死なれた主イエスを、救い主、主として信じる者に、すべての罪の赦しと、神の国、天国に入り、神の豊かな祝福を受け継ぐ恵みを下さる。罪への神の正しい怒りで、私達は、地獄、永遠の滅び、永遠に火の池の中で永遠に苦しむ罰が当然の報いだったが、主イエスが、その刑罰を身代わりに受けて下さったので、主を信じる私達には、永遠の命＝神の素晴らしさを知り続け、神と幸いな交わりをし、神に永遠の愛で愛される命が与えられる！心から感謝したい。神は、主を信じる私達に、御聖霊と新しい命、性質を与えて下さる。

①淫ら、汚れ、不品行の代わりに、聖い心と聖い人生、神に正直に罪を告白し、赦され、きよめられる人生に変えられる。

②貪り（むさぼり）、欲張りの代わりに、神の恵みの故に、神に感謝して捧げる心、困っている人を助ける心が与えられる。

③偶像礼拝の代わりに、天と地を造られたまことの神を礼拝する心と人生を下さる。神を礼拝する事は、型苦しい義務ではなく、喜びである。コロナ禍で、共に礼拝できない経験を通して、キリストのからだである教会として礼拝出来る幸いを深く自覚させられた。礼拝できる事は喜びである！

IV 神の恵みへの応答としての人生。御聖霊が、新しい人生に導かれる。

1. 淫らな者、汚れた者、貪る者、偶像礼拝者、神への不従順の者たちの「仲間になってはいけません」：7。「あなたがた（私達も）は以前は闇（悪魔と罪と死、悪に支配された人生、神の命から離れた人生、善悪の判断ができない人生）でしたが、今は、主にあって、光（真の神を知る、神のもとに立ち返り、義と聖を持つ光、試練の中でも真の希望を持てる光、冷たい心、冷たい人生を暖めてくれる光、善悪の判断ができる光）となりました。光（光である神）の子どもとして歩みなさい。」：8。

2. 「あらゆる善意と正義と真実のうちに、光は実を結ぶのです」：9。「神は光であり、神には闇（罪、悪、誤り、偽り）が全くない」（Iヨハネ1：5）。神の光が結ぶ実は、あらゆる善意、正義、真実。

3. 「何が主に喜ばれることなのかを吟味（原語：判別、知ろうと努める）しなさい」：10。自分や人が良いと思う事を祈りもせず、すべて、あわててする事が、主に喜ばれる事ではない。主は、祈りのない人間的な時にではなく、主の時に真実な愛の行いをすることを喜ばれる。主は、私たち

が、肉の熱心で、良いと思う事をやり過ぎて、喜びも愛もなく続ける事を喜ばれない。主に喜ばれる事を吟味するのに役に立つのは、やはり、祈りとみことばである。主の肉声が聞こえるわけではないが、祈り静まり、みことばを味わっていると、主は、私たちの心に、靈的な判別の知恵、識別力を下さる。神が分け与えられる①自分の分、②人の分、③協力し合う分、④神の分（領域）を見分けることができるように祈りたい。「あなたがたが、大切なことを見分けることができますように」（ピリピ1：10）。

4. 「実を結ばない暗闇のわざに加わらず、むしろ、それを明るみに出さない」：11。光が当たらない畑の作物は、実を結ばない。※証し。同じ様に、暗闇のわざ＝罪、悪、神の命神の光がないわざは、神が喜ばれる実を結ぶ事は出来ない。むしろ「明るみに出さない」の原語は、「指摘してやりなさい」という意味もある。愛と光の神の前に、正直に告白し、神の赦しと聖い人生を歩むように促す。他人だけではなく、自分自身も、光の神に自分の罪を告白し、赦しときよめをいただく。

5. 「彼らがひそかに行っていることは、口にすることも恥ずかしいことなのです」：12。神から離れた私達人間が、ひそかに行っている罪、悪、不品行、不正は、口にすることも恥ずかしい事である。コロナ感染者を差別してはいけない。気を付けて生活されていた方々が、感染されている場合もある。感染者の方々の治療に当たられた医療従事者が感染される事もある。と同時に、コロナ感染が、夜の街の接触で広まる事も起きている。私達は、世界中の人々が、口にすることも恥ずかしい罪を悔い改めて主を信じ、聖い聖霊をいただいて、喜んで神が喜ばれる善意と正義と真実な行いに歩めるように祈りたい。そして、自分自身も、神が喜ばれる愛と聖い歩みが出来るように祈りたい。

6. 「しかし、すべてのものは光によって明るみに出され、明らかにされます」：13。人間がひそかに行い、口にすることも恥ずかしい罪、不品行、不正が、明らかにされるのには、神の時がある。ある罪、悪、不品行、不正、賄賂等は、この地上で神が明らかにされる。ある罪、不品行、不正は、世の終わりの主の再臨の時、神が明らかにされ、正しく裁かれる。主を信じている私達は、最後の審判まで、引き延ばすのではなく、この地上にいる今、聖霊なる神が罪を示して下さる時、時間をおかずに、すぐに悔い改めたい。「もし自分には罪がないと言うなら、私たちは自分自身を欺いており、私たちのうちに真理（真実）はありません。もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます」Ⅰヨハネ1：8, 9。「もし私たちが、神が光（聖い真実）の中におられるように、光（神に隠し事のない真実な神との交わり）の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます」1：7

V 「明らかにされるものはみな光（神ご自身）だからです。それで、こう言われています。『眠っている人よ（罪の中で眠っている人よ）。起きよ（自分の罪に気付いて、目覚めよ。悔い改めて神に立ち返り神と共に歩め）。死者（罪の中に死んでいた状態）の中から起き上がり（悔い改めて、主を信じ、新しい命をいただいて、死んだ状態から起き上がり）。そうすれば、キリストがあなたを照らされる。』：14。キリストが、あなたの人生の道を照らし、苦しい時も主が共におられ、支えて下さり正しい道に導かれる。感謝！